

第一生命経済研レポートテーマ (2006年5～6月)

<p>2006年5月号 (通巻110号)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時評 ・今月の内外景気 ・今月の金融マーケット ・中小企業アイ ・経済トレンド ・けいざい・かわら版 ・よくわかる日本の人口 ・内部統制をどう捉えるか ・セクター分析 ・よくわかる経済指標 ・経済振り返り 		<p>株式投資の本質 日本経済 ～視野に入ってきた“いざなぎ超え”～ 米国経済 ～利上げ打ち止めの可能性～ 日米経済の現状と6ヶ月後の見通し 業績？金利？需給？日本株を取り巻く環境 円債利回り・ドル/円レートの6ヶ月見通し 一極集中と経済格差 長期金利の上昇が企業収益に及ぼす影響 ～+1%ポイントの上昇は非金融法人企業の経常利益に▲3.7%の押し下げ圧力～ 人口変動の経済・社会的影響 ～よくわかる日本の人口⑩【まとめ】～ 内部統制は誰もが知っておくべきテーマとなった ～内部統制をどう捉えるか①～ 産業別利益動向 GDP 日本経済振り返り (2005年度)</p>
<p>2006年6月号 (通巻111号)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時評 ・今月の内外景気 ・今月の金融マーケット ・中小企業アイ ・経済トレンド ・けいざい・かわら版 ・内部統制をどう捉えるか ・セクター分析 ・よくわかる経済指標 		<p>株式会社の隆盛と幸せを希求する市民社会の調和 日本経済 ～輸出減速のタイミング～ 米国経済 ～急がれる不均衡の是正～ 日米経済の現状と6ヶ月後の見通し 金融政策の“ズレ”がもたらす円高圧力 円債利回り・ドル/円レートの6ヶ月見通し 公正な競争の結果か否か デフレ脱却後の論点～デフレ脱却後のインフレ圧力は限定的～ 裾野広がる今年のクールビズ商戦～今年の市場規模予想は1,504億円、昨年から+584億円の拡大が期待される～ エッセンスは「目的達成を支える手段」 ～内部統制をどう捉えるか②～ 産業別利益動向 景気動向指数</p>

編集後記

サッカーワールドカップで影が薄れがちだが、テレビに映るプロ野球ナイターの照明に夜風が感じられる季節になった。WBC(ワールド・ベースボール・クラシック)で日本代表の王ジャパンが九死に一生を得て優勝を手にしたのは三月のことだ。最近では娯楽が多様化し人気もジリ貧とも言われていた日本のプロ野球にとっては実力が見直されるきっかけになった。野球にそれほど関心が高いほうではないが、子供のころにはプロチームのマークの入った野球帽をかぶって草野球をした記憶はある。

そういえば、かつてとはプロ野球のチーム名がずいぶん変わった。多くの球団のオーナー企業が入れ替わった。資料を紐解くと1950年代前半のオーナー企業には映画会社の名前が三つほど並んでいる。国鉄を含め電鉄会社も数社見られる。これは戦後の高度成長期に入ろうという時代背景、国民生活と深い関係がありそうだ。庶民はプロ野球に熱狂し、映画を楽しみ、休日には鉄道沿線の百貨店や遊園地に出かけたのだ。

その後テレビが普及して野球観戦は自宅でもできるようになった。期を同じくして映画館数、観客動員数は減少に転じる。

今世紀に入ってプロ野球のオーナー企業にインターネット関連企業が登場してきた。今回株式買占めが私鉄再編の引き金になり、昨年はインターネット企業が企業買収に名乗りを上げ話題を集めた。プロ野球オーナー企業の入れ替わりは産業構造の変遷を見るようになかなか興味深い。50年後のオーナー企業はどんな顔ぶれになっているか想像がつかない。

(H. U)